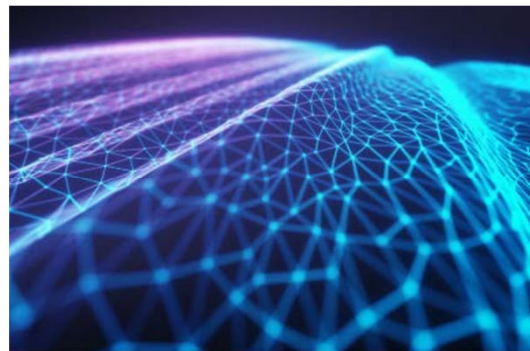


関西学院大学×日本IBM 共同開発による完全オンラインのリカレント教育

AI活用人材育成プログラム

IT・データサイエンス・AIの知識・スキルを
基礎から学べる「AI活用人材育成プログラム」を
完全オンライン（オンデマンド）で社会人の方々に提供しています。
2021年秋にサービスを開始し、すでに170を超える企業等で
のべ6,500名の受講者にご利用いただいております。
いつでもどこでも何度でも学べる、質の高いe-Learningプログラム。

ぜひ、体験してください！



入門科目

「AI活用入門」

ChatGPTを含む人工知能の歴史を紐解きながら、AI活用に関わる技術、事例、ツール等を幅広く学び、その基礎的知識・スキルをビジネスシーンで活用できる「AI活用人材」をめざします。



「ガイドブック付」

IT情報誌「日経パソコン」との産学連携により発行した「学習用ガイドブック」。全14章の学習ポイントをまとめているほか、ソフトウェア「Node-RED」「RStudio」等の解説・導入手順や、講義の理解を助ける重要キーワード（用語集）を収録して、より確実な知識の定着を促進します。

「AI活用アプリケーションデザイン入門」

AIの各機能（自然言語、音声認識、画像・動画解析等）の概要、技術、事例を中心に学び、ビジネスにおけるアプリケーションの活用法を提案できるようになることをめざします。

「AI活用データサイエンス入門」

データサイエンスにおける概念やアルゴリズム(正規分布、推定と検定、主成分分析など)、技術等を中心に学び、統計ソフトウェア「R」を用いて実際の現場で活用できるようになることをめざします。

演習科目

「AI活用機械学習プログラミング演習」

ブラウザだけで学べるオンラインプログラミング環境にて、AIの基盤技術である機械学習・深層学習に関する基礎的な知識を学び、その実装のために必要なプログラミング言語「Python」を用いたプログラミングスキルを修得することをめざします。

「AI活用Webアプリケーションプログラミング演習」

オンラインプログラミング環境にて、Webアプリケーションの仕組み、開発に必要なプログラミング言語「Java」の基礎を学び、ユーザーニーズに沿って、AIを活用したWebアプリケーションを実装できるようになることをめざします。

「AI活用UX/UIデザインプログラミング演習」 **2024年3月新開講**

商品やサービスの持つ価値を、顧客目線で形にするUX（User Experience）デザインを体系的に理解すると共に、その価値を直感的に伝えるUI（User Interface）デザインの開発に必要なHTML/CSS/JavaScriptなどの活用方法を学ぶことで、UX/UIデザインに優れたAIアプリケーションを設計できるようになることをめざします。



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

お問い合わせ先

関西学院総合企画部

<https://www.kg-vlearning.jp/contact>

今、AI教育が求められている

デジタル変革が加速する現代社会で、世界的にAI人材の不足が叫ばれています。

国内においても、2030年には約80万人のAI人材が不足すると警鐘が鳴らされる中、日本政府は国の重点施策として「AI戦略2019」を掲げ、「毎年、大学生・高専生50万人、社会人100万人がAIリテラシーを身につける」ことをめざしています。

関西学院大学は「AI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材」の育成を目的に、2017年より日本IBMと共同プロジェクトを立ち上げ「AI活用人材育成プログラム」を開発しました。

関西学院大学による学術的な知見と、日本IBMによるAIの社会実装についての先進事例を反映した実践的なプログラムです。関学生だけでなく、一般社会で活躍する皆様にも提供することで、デジタル変革の推進を担うAI人材の輩出に貢献します。



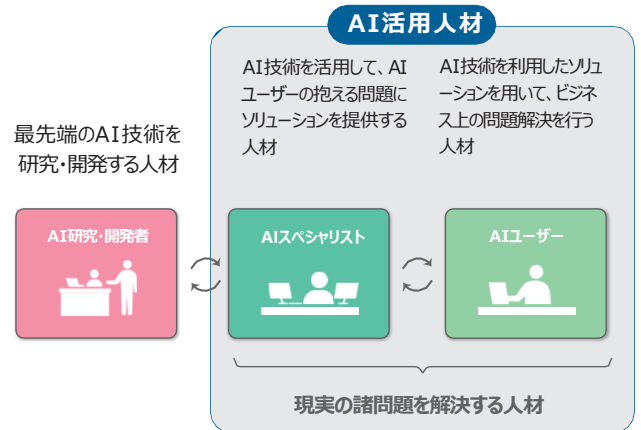
関西学院大学
×
日本IBM

AI活用人材とは？

AIに係る人材は、

- ①最先端技術を追求める「AI研究・開発者」、
 - ②AI技術を活用して、AIユーザーの抱える問題にソリューションを提供する「AIスペシャリスト」、
 - ③AI技術を利用したソリューションを用いて、ビジネス上の問題解決を行う「AIユーザー」、
- の3つに分類されます。

そして、現在特に社会で求められているのは②と③で、AI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材を「AI活用人材」と位置づけ、育成しています。



AI活用人材育成プログラムのPoint

1 文理問わず、初学者も対象

文系・理系を問わず、本学の新生でも学ぶことができるよう、初学者を念頭にいた基礎から積み上げるカリキュラムです。

また、AI活用人材として必要なスキル（AI活用スキル・ITスキル・データサイエンススキル・ビジネススキル）を網羅し、演習を行うことで「実践力」を修得します。

2 完全オンラインで学習効果を最大化

ナレーションと字幕による説明、講師による丁寧な解説、ワークを行うためのデモンストレーション動画、演習・ワーク、ランダムテスト、TAチャットボット等をすべて活用することにより、「完全オンライン」での学習効果を最大化します。

ナレーションと字幕による説明	講師の解説	デモ動画
オンラインテスト・ワーク	TAチャットボット	オンラインプログラミング環境

3 TAチャットボットが学習をサポート

完全オンライン教育においては、講義内容等の分からないことを質問できる機能は不可欠です。

IBM Watson Assistantを搭載した「Teaching Assistantチャットボット」は24時間365日いつでもどこでも疑問を尋ねることが可能です。



4 デジタル修了証[オープンバッジ]を発行

本プログラムを修了された方には、デジタル修了証[オープンバッジ]を発行します。

本学のオープンバッジは、一般社団法人オープンバッジ・ネットワークがブロックチェーン技術により管理しており、偽造・改ざんができない国際基準の学習・資格証明書です。



関西学院
KWANSEI GAKUIN